

Mizuho Daily Market Report

2023/9/19

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	147.71	147.61	▲0.24	+1.02
EUR	1.0662	1.0692	+0.0035	▲0.0058
AUD	0.6438	0.6437	+0.0005	+0.0006
SGD	1.3645	1.3633	▲0.0003	+0.0027
CNY	7.2915	7.2912	+0.0154	+0.0021
MYR	4.6915	4.6900	+0.0067	+0.0170
THB	35.70	35.73	▲0.09	+0.23
IDR	15376	15370	+17	+45
PHP	56.85	56.87	+0.06	+0.18
INR	83.22	83.27	+0.09	+0.24

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.303%	▲3.0 bp	+1.5 bp
日本(10年)	0.715%	+0.0 bp	+0.6 bp
ユーロ圏(10年)	2.708%	+3.3 bp	+7.0 bp
オーストラリア(5年)	3.950%	+8.7 bp	+6.8 bp
シンガポール(5年)	3.234%	+3.4 bp	+7.5 bp
中国(5年)	2.509%	+1.8 bp	+2.5 bp
マレーシア(5年)	3.649%	+1.4 bp	+4.4 bp
タイ(5年)	2.764%	+1.9 bp	+5.6 bp
インドネシア(5年)	6.376%	+3.4 bp	+8.7 bp
フィリピン(5年)	6.085%	▲3.7 bp	▲2.7 bp
インド(5年)	7.163%	▲0.5 bp	▲8.7 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	34,624.30	+0.0%	▲0.1%
N225(日本)	33,533.09	+0.0%	+3.3%
STOXX50(ユーロ圏)	4,245.88	▲1.1%	▲0.2%
ASX(オーストラリア)	4,152.91	▲0.9%	+1.7%
FTSTI(シンガポール)	3,263.39	▲0.5%	+1.4%
SSEC(中国)	3,125.93	+0.3%	▲0.5%
KLSE(マレーシア)	1,457.99	▲0.1%	+0.2%
SETI(タイ)	1,527.57	▲0.9%	▲0.9%
JKSE(インドネシア)	6,936.083	▲0.7%	▲0.4%
PSE(フィリピン)	6,124.57	▲0.0%	▲1.8%
SENSEX(インド)	67,596.84	▲0.4%	+0.7%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	289.38	▲0.1%	+1.1%
金	1,933.84	+0.5%	+0.6%
原油(WTI)	91.48	+0.8%	+4.8%
銅	8,299.80	▲0.6%	▲0.9%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	147.00	—	149.00
EUR/USD	1.0600	—	1.0750
AUD/USD	0.6340	—	0.6530
USD/SGD	1.3570	—	1.3680
USD/CNY	7.2600	—	7.3200
USD/MYR	4.6700	—	4.6920
USD/THB	35.60	—	35.90
USD/IDR	15340	—	15380
USD/PHP	56.56	—	57.25
USD/INR	82.81	—	83.35

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

前週末海外時間に年初来高値を更新していたドル円は、週明けのアジア時間、147円台後半で取引を開始。東京休場で参加者も少ないことに加え、FOMCや日銀政策決定会合といった重要イベントを目前に控える中では警戒感も強く、朝方から軟調な展開。ハンセン株式指数といった主要アジア株の軟調な値動きも重しとなり147円台半ばまで小幅に下落。同水準でもみ合い推移し海外時間へ。アジア通貨も小動き。アジア新興国では今週、インドネシアとフィリピンが中銀会合を予定。中銀イベントを控える中、方向感もなく推移した。

海外市場のドル円は147円台半ばで取引を開始。特段注目の経済指標発表の予定がなく、一時小幅に上昇する場面も見られたが、手がかり材料を欠き、伸び悩む。その後、147円台半ばから後半にかけての狭いレンジ内で動意に欠ける展開が継続し147円台半ばでクローズした。

【金利】

米金利市場は、長期で前週終値比低下し、イールドカーブはツイストフラット化。米州時間朝方発表の住宅関連指標が弱い内容だったことから、発表後に債券買いが強まり、金利低下。午後の取引もそのトレンドが持続し、10年債利回りは、4.30%近辺で引け。今週に予定されている、FOMC会合への様子見ムードが強かった。

【予想】

本日のドル円も方向感に欠ける展開が継続するものと予想。週央にFOMC、週後半には日銀政策会合を控える中、様子見ムードが継続しよう。

【本日の予定】

(日本) 流動性供給入札
(アジア) 8月 フィリピン 総合国際収支
(アジア) 8月 マレーシア 貿易収支
(アジア) 休場 インド
(アジア) 豪 RBA議事要旨
(欧州) 7月 キリジャ 経常収支
(欧州) 7月 ユーロ圏 ECB経常収支
(欧州) 7月 伊 経常収支
(欧州) 8月 ユーロ圏 CPI(確)
(米国) 7月 ネットTICフロー合計
(米国) 8月 建設許可件数 / 住宅着工件数 / 住宅建設許可
(米国) 国債入札(20Y)
(米国) 国連総会一般討論演説(NY)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。